

■庁舎・保健センター再編事業 設計概要書

～第一期・庁舎編～



清須市役所総務部財産管理課



目次

配置イメージ

本館
(現：北館)

西館
(増築棟)

南館
(改修棟)

■事業概要	P.3
■西館 設計コンセプト	P.4
建物概要	P.5
配置計画	〃
平面計画	P.6
立面計画	P.7
構造計画	P.8
外構計画	P.9
環境計画	P.10
■南館 改修コンセプト	P.11
平面計画	P.12
■概算事業費	P.13
■建設スケジュール	〃

■ 事業概要

～令和4年度策定・清須市役所南館改修工事基本構想より～

改修コンセプト

《来庁者・職員の安全確保》
《住民サービス維持》

○第一期～庁舎編～

改修期間 令和6年12月～令和8年3月（予定）

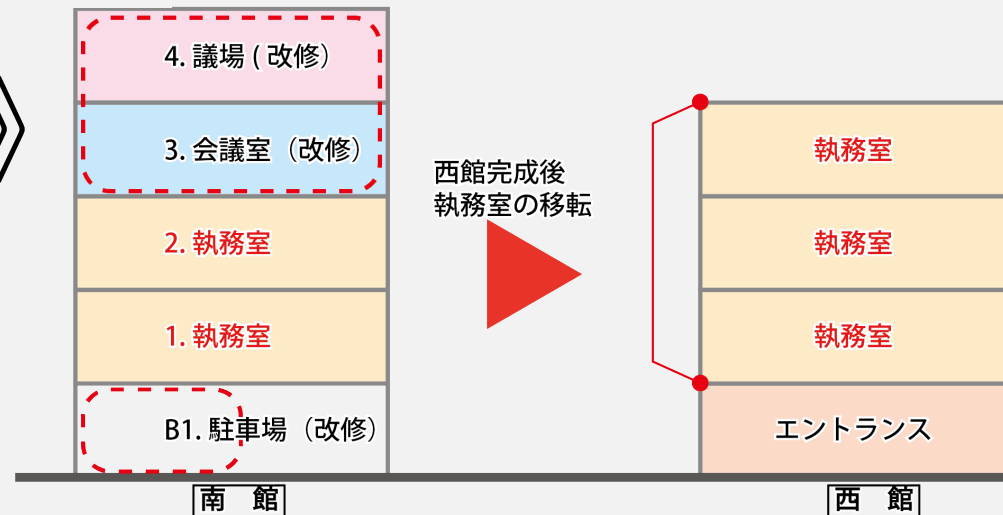
改修範囲 南館B1・3階・4階／西館増築

○第二期～保健センター編～

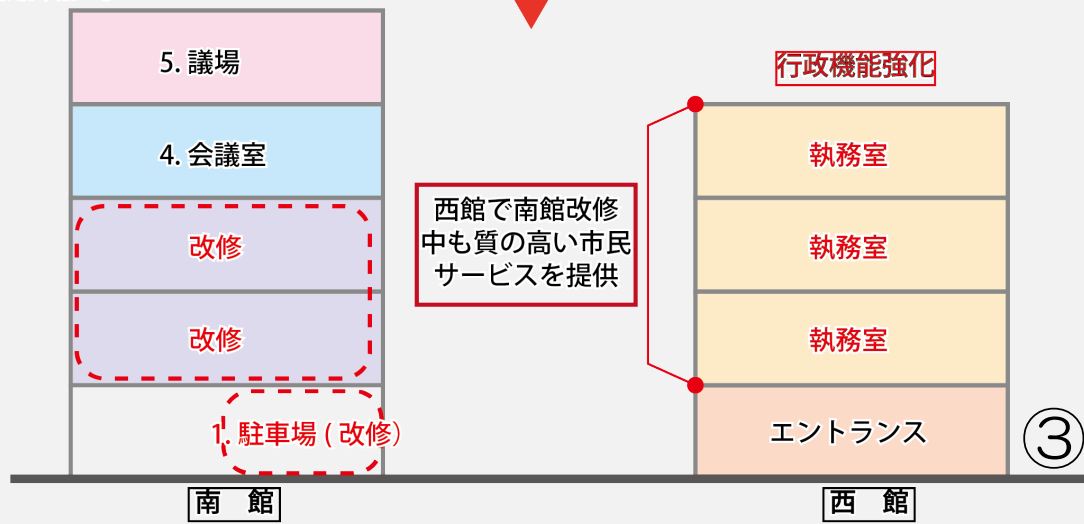
改修期間 令和8年3月～令和9年3月（予定）

改修範囲 南館B1・1階・2階

■ 第一期



■ 第二期



■西館 設計コンセプト

○安心

- ・災害時、災害活動拠点となる本館を「支援する施設」になることから大地震時においても機能継続が可能な構造計画、設備計画とする。
- ・河川氾濫を想定し、2階フロアレベルを本館同様の地上5mに設定する。
またサーバー等、重要設備は2階以上の階層に計画し災害対策に万全を期する。

○快適

- ・西館1階エントランスに総合窓口を設置し来庁した方々への快適な案内サービスを提供する。
- ・西館、本館を「渡り廊下」で接続することで各窓口へのスムーズな移動可能な計画とする。
- ・全階にバリアフリースイレを設置する等、あらゆる人に優しいユニバーサルデザインとする。

○創造

- ・1階に「市民協働スペース」を設置し、多様化する地域ニーズや地域課題に対応し市民活動の支援拠点を計画する。

○責任

- ・長期間、行政サービスを提供できる庁舎とするため、長寿命化を見据えた計画とする。
- ・メンテナンスバルコニーを計画し、日常的なメンテナンスの行いやすい計画とする。

■建物概要（西館）

延床面積 3,767.27m²
建築面積 1,080.92m²
敷地面積 19,034.26m²
構造種別 鉄筋コンクリート造
(耐震構造)

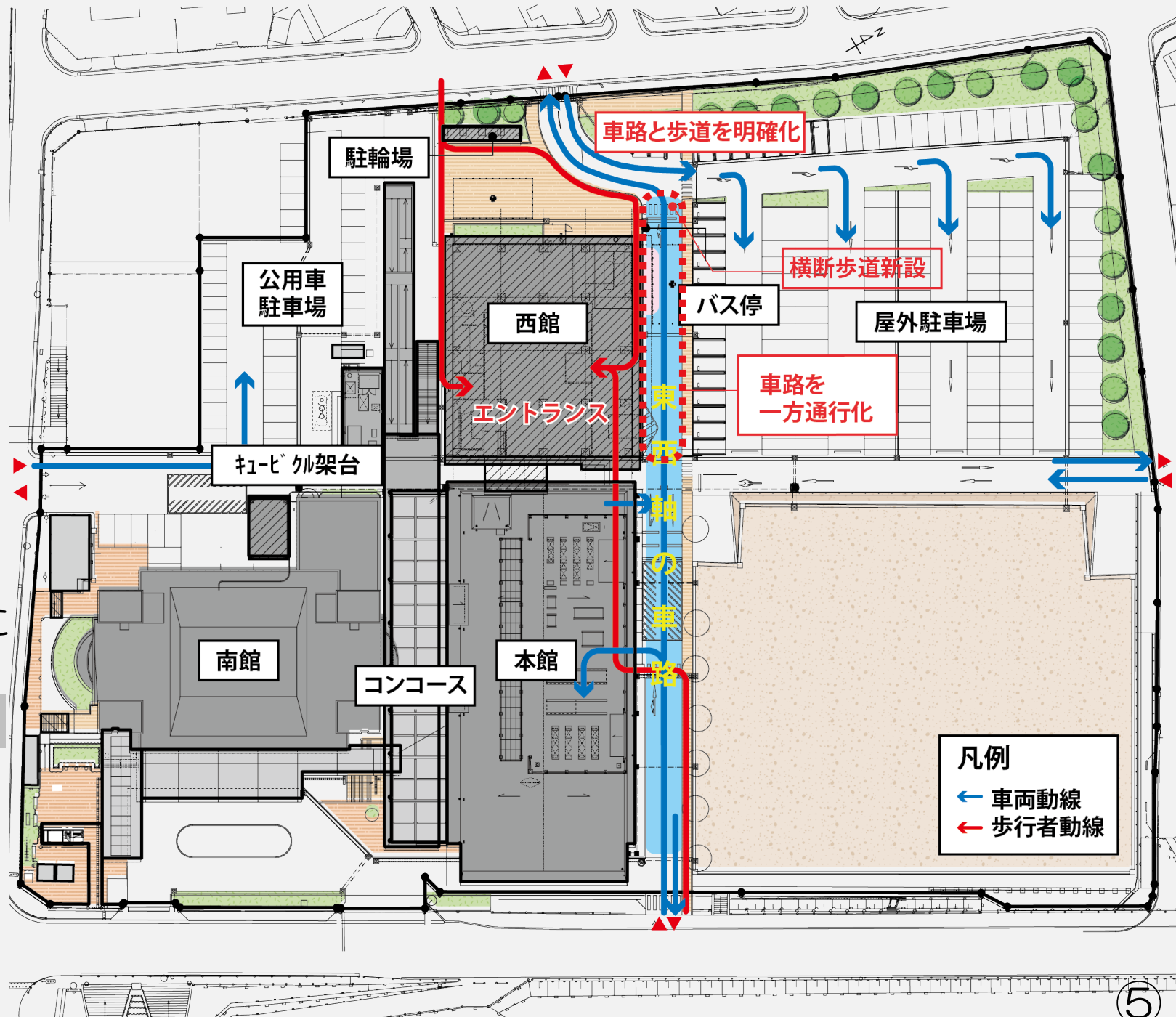
階 層 地上4階建

■配置計画

建物配置 西館は北側の屋外駐車場に
直接面して配置

⇒エントランス（総合案内）
が目視できる配置計画

動線計画 屋外駐車場利用者
⇒エントランスへ誘導



■ 平面計画

○来庁者と職員の エリア分けを明確に

バックヤードに迷い込むことなく、目的の窓口に行くことができるようなゾーニングを計画

○本館との連携

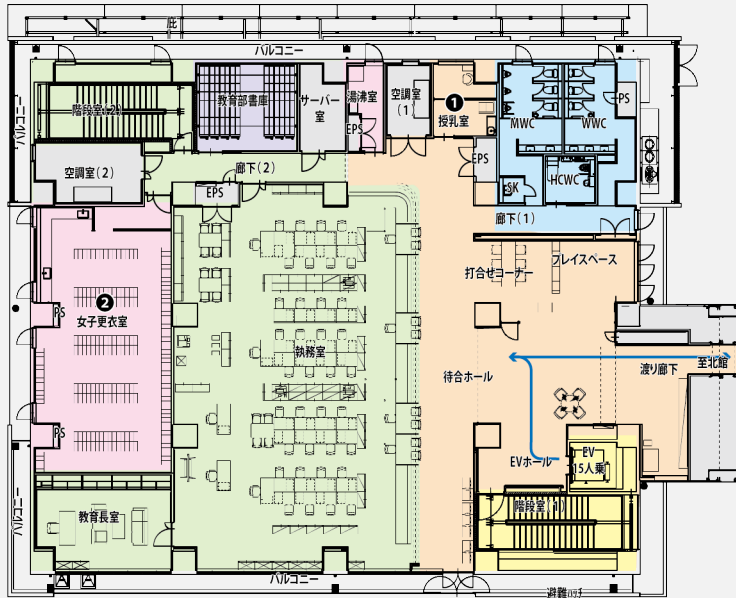
西館と本館（2～4階）の間に「渡り廊下」を設置することでシンプルな動線とし来庁者が迷うことのないよう計画する。

凡例

- 来庁者利用エリア
- 来庁者階段、エレベーター
- 来庁者・職員利用トイレ
- 執務エリア
- その他職員利用エリア
- 書庫・倉庫
- 設備諸室

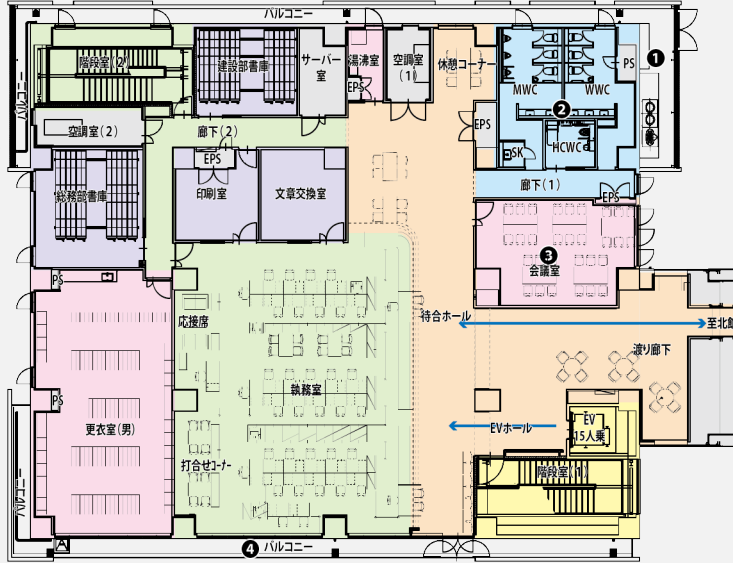
- ① 授乳室
・子連れの市民が多い
学校教育課窓口に近接
- ② 女子更衣室
・十分なスペースを確保するとともに、手洗いやパウダーカウンターも設置

2 階



- ① 設備バルコニー
・各階の空調機を設置し、設備効率向上を図る
- ② トイレ
・十分な器具数を確保するとともに、各階に車いす使用者用トイレを計画
- ③ 会議室
・西館職員の円滑な会議ができるよう配慮
・可動間仕切りで2室に分割可能
- ④ バルコニー
・各階に配置し、日常メンテナンスのしやすさに配慮

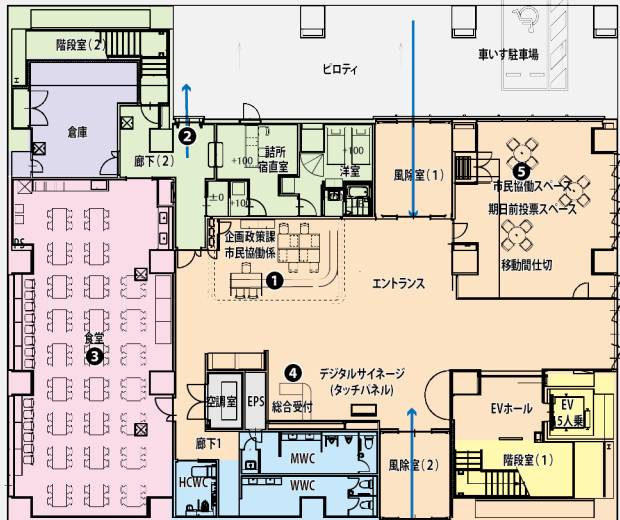
4 階



- ① 市民フォーラム
・エントランスに面し、市民が気軽に利用可能
- ② 通用口
・職員の最終退出口
- ③ 食堂
・120人程度の職員が一度に利用可能
- ④ 総合受付
・来庁者の分かりやすい位置に計画し、タッチパネル式の案内板も設置
- ⑤ 期日前投票スペース
・エントランスの一部を
期日前投票に利用

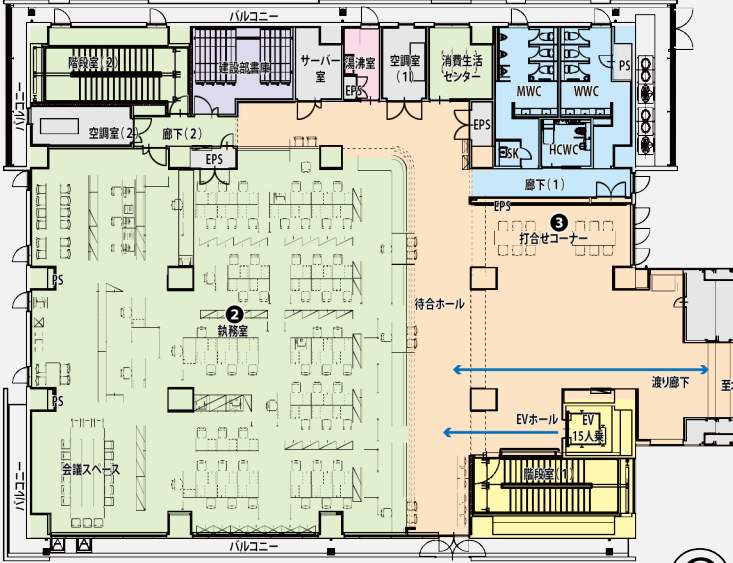


1 階



- ① 書庫
・各階に移動式書架を設置した書庫を計画
- ② 執務室
・一部の柱を抜き、無柱のまとまった執務空間
- ③ 打合せスペース
・技術系の課が入居する事を勘案し、業者との打合せスペースを計画

3 階



■立面計画

○統一感のある立面計画

本館の外観を踏襲し、清須市役所の庁舎として「統一感」のあるデザインとする。

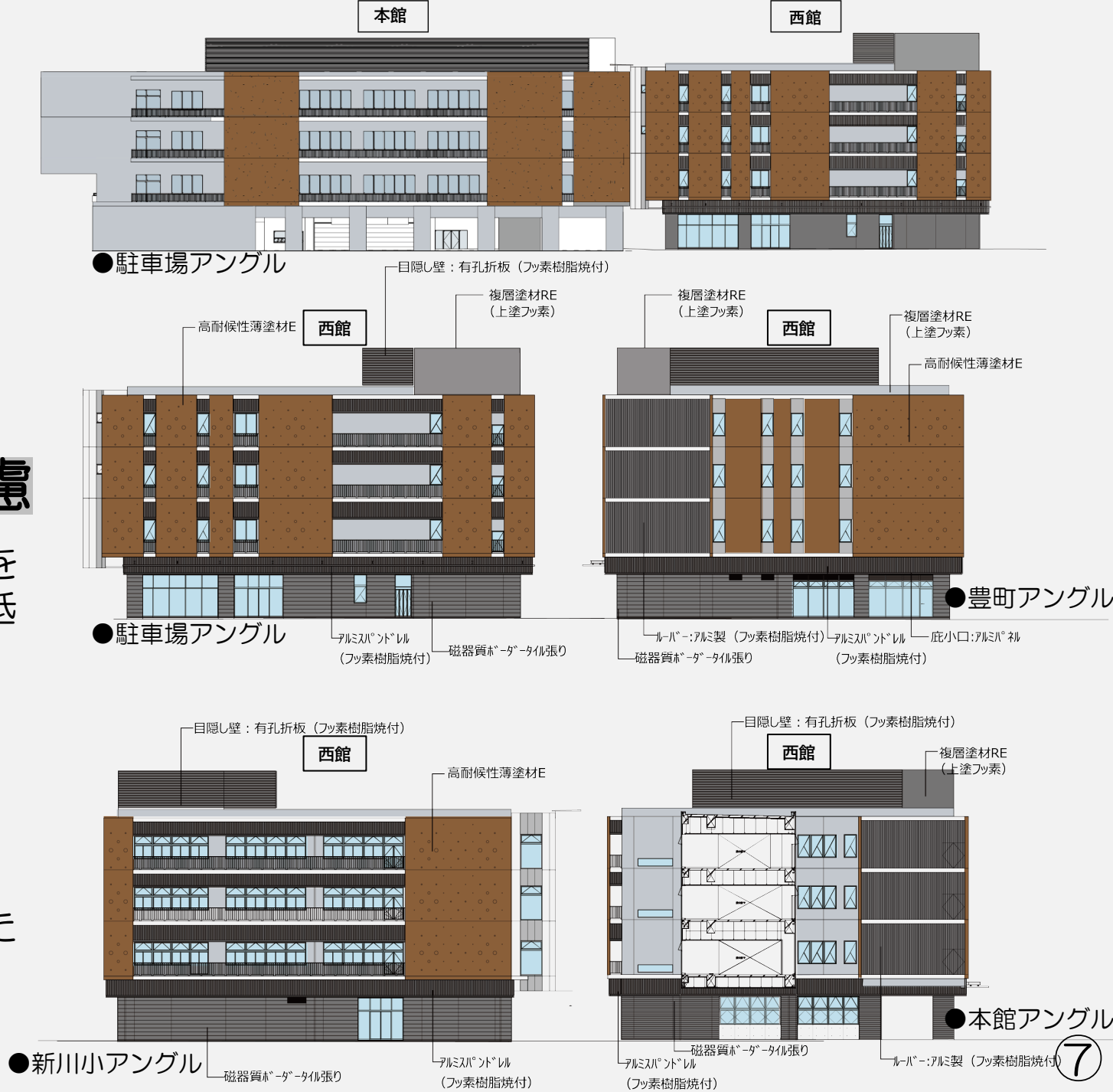
○省エネやメンテナンス性に配慮

「外部バルコニー」により、日常メンテナンスを実施しやすい計画とする。また夏季の日射取得を低減し、空調効率に貢献する。

○長寿命化を見据えた計画

外部に使用する塗装は、原則ふっ素樹脂塗料を採用し、仕上材の長寿命化を図る建材を選定する。

また、設備機器等更新時の「搬出入」を考慮した外壁計画とする。



■ 構造計画

○ 基本方針

- ① 大地震発生後においても機能維持を図る構造計画とする。
- ② 将来の行政需要変化に対応し、容易に「間仕切り改修可能」なフレキシビリティの高い計画とする。
- ③ 耐震安全性やフレキシビリティに配慮しながらも「経済性の高い」構造計画とする。
- ④ 主要構造に用いる材料は、耐久性能を確保できる仕様にて計画する。

○ 耐震性能目標

本建物の耐震性能は、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成8年版：建設大臣官房官庁営繕部監修）により、構造体の性能はⅠ類相当とする。
これにより大地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて庁舎の機能確保を図る計画とする。

表 構造体の耐震安全性の目標及び保有すべき性能				
耐震安全性の分類	耐震安全性の目標	保有すべき性能	重要度係数(Ⅰ)	大地震時の変形制限
Ⅰ類 特に構造体の耐震性能の向上を図るべき施設	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる。	大地震動に対して無被害あるいは軽微な損傷に止まり、直ちに補修を必要とするような耐力低下を招くことがない。	1.5	RC造 SRC造 1/200 S造 1/100
Ⅱ類 構造体の耐震性能の向上を図るべき施設	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られる。	大地震動に対して比較的小さな損傷に止まり、直ちに大きな補修を必要とするような耐力低下を招くことがない。	1.25	
Ⅲ類 建築基準法に基づく耐震性能を確保する施設	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られる。	大地震動に対して部分的な損傷は生じるものの、倒壊、部分倒壊などの大きな損傷は発生せず、著しい耐力低下を招くことがない。	1.0	

■ 外構計画

○市役所の玄関となる外構計画

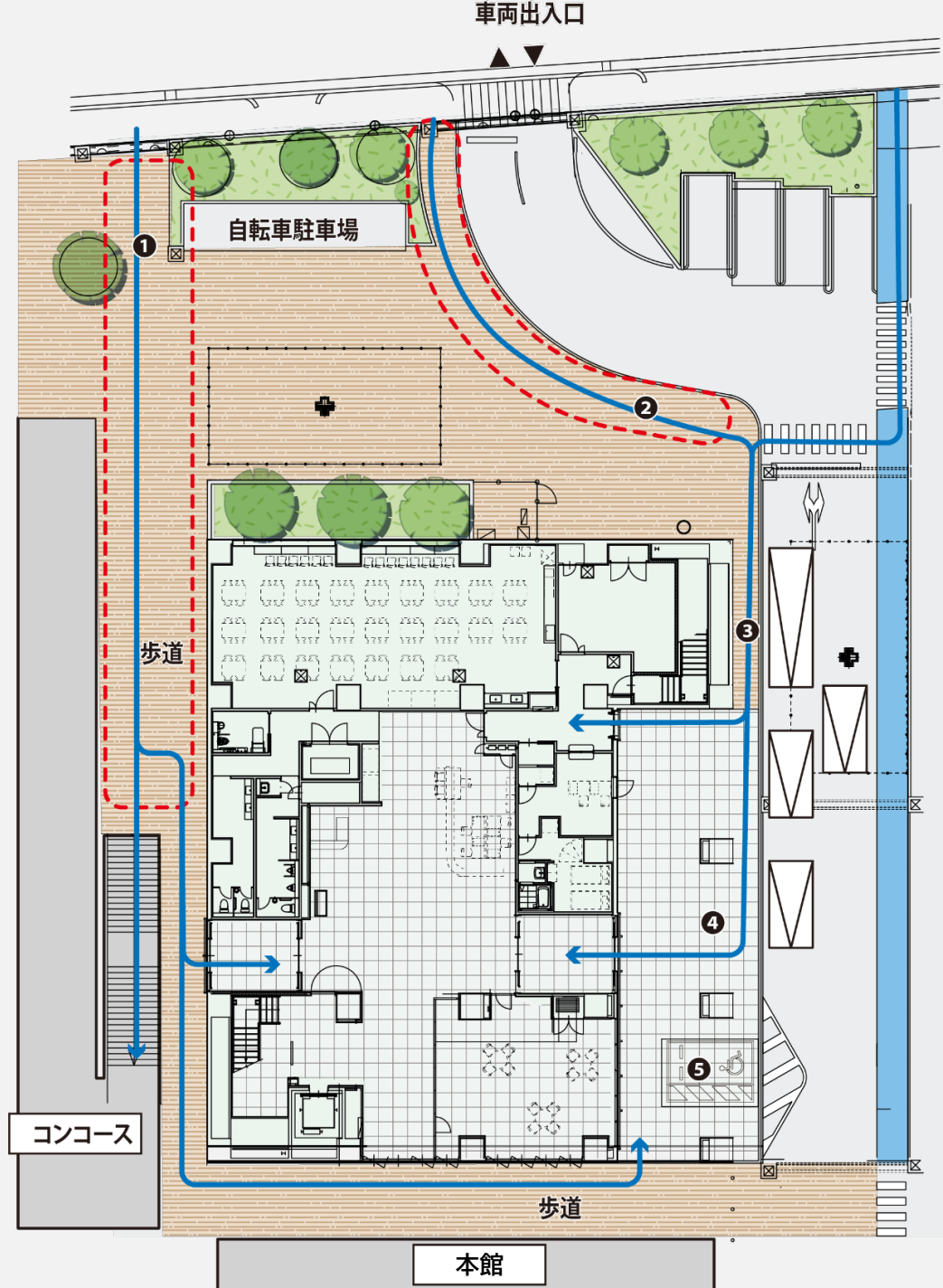
屋外駐車場からの来庁者が最も多いため、屋外駐車場からの「分かりやすさ・利用しやすさ」に重点を置いた外構計画とする。

○きよす あしがるバスの発着点

西館ピロティに「あしがるバス」のバス停を移設する。車両と建物の間に「庇」を設置し、利用しやすい環境整備とする。

○外構計画にもユニバーサルデザインを採用

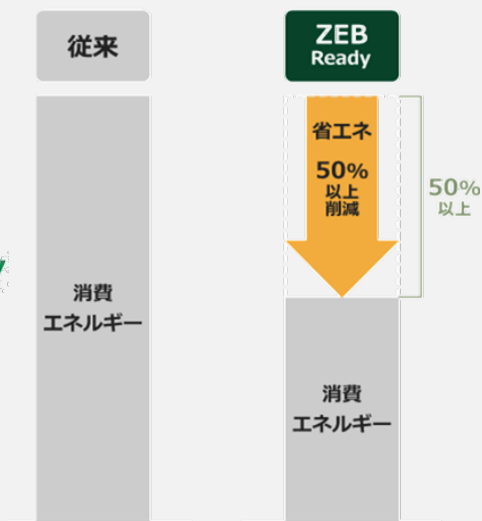
西館ピロティには「車寄せ」や「おもいやり駐車場」を設けるなど、来庁者の「使いやすさ」に配慮した外構計画とする。



■ 環境計画

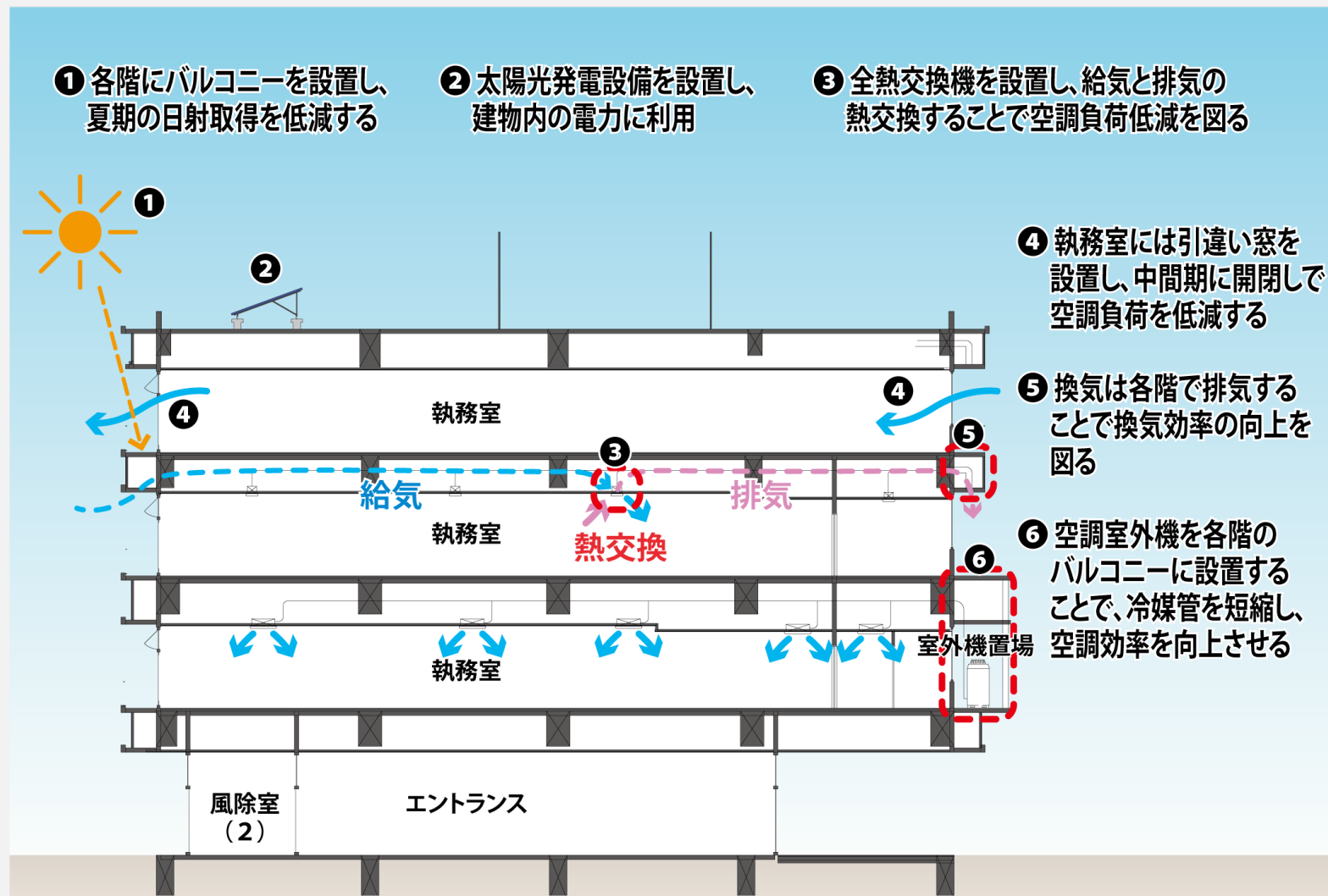
OZEB Ready相当の省エネ性能

省エネによって年間の一次エネルギー消費量を従来の50%以下となるようにする。



○ 公共施設として要求される 環境性能を満足させる計画

近年、社会的に要求される環境性能達成に向けて「高断熱化・高効率設備」採用により西館単体の「ZEB Ready」相当省エネ性能を実現する。



■南館 改修コンセプト

○市民に親しまれ
市民の利便性に配慮した視点

- ・ユニバーサルデザインの充実
- ・市民利用スペースの充実
- ・セキュリティの強化

○環境に配慮した視点

- ・環境共生への配慮
- ・利用する人への配慮

○災害時に庁舎としての
機能を果たす視点

- ・地震への対策強化
- ・浸水への対策強化

○効果的・経済的で柔軟な視点

- ・ライフサイクルコストの低減
- ・施設、設備の老朽化に対する改修
- ・現行法令に適合させた安全性向上のための改修

■ 平面計画

○来庁者の利便性と セキュリティ確保の両立

南館4・5階にバリアフリースペースを計画する。

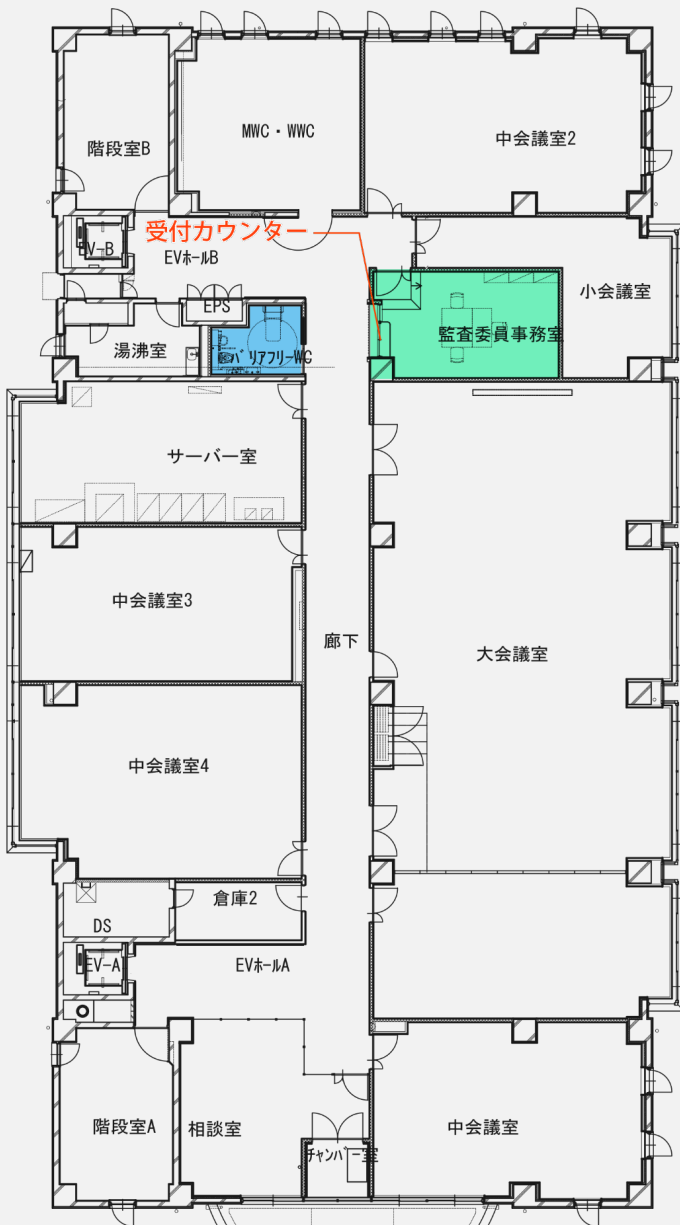
各階にカウンターを有する執務室を設置し、来庁者へのご案内を実施する。

さらにセキュリティラインを設定し情報漏洩を防ぐとともにバックヤードへの迷込みを防止する。

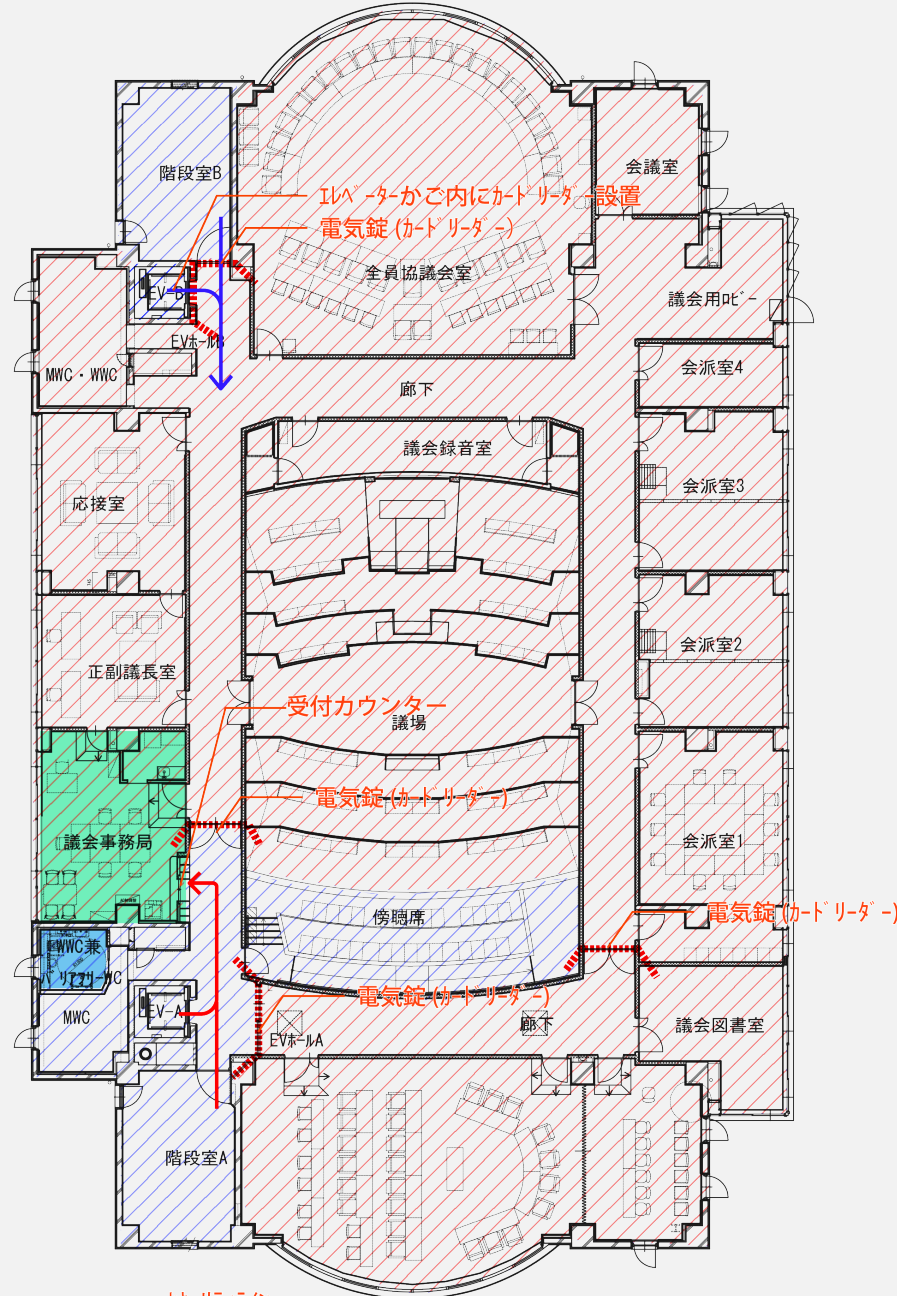
○安全・安心な庁舎

照明LED化、空調のエリア化等による省エネ、省メンテナンス、安全性を考慮したシステム・機器選定を行う。

また改修に合わせてアスベスト含有建材の撤去を行い安心して使用できる庁舎を目指す。



4階平面図



..... セキュリティライン

//// セキュリティゾーン

\\\\ フリーゾーン

5階平面図

← 来庁者動線

← 議場関係者動線

■ 概算事業費～第一期～

項 目	設計額
西館増築	約20.4億円
南館改修	約11.6億円
その他付帯工事	約3.0億円
計	約35.0億円

■ 建設スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
■ 基本構想	策 定				
■ 第一期 ～庁舎編～		設 計	工 事		
■ 第二期 ～保健センター編～			設 計	工 事	

●配置イメージ

本館
(現：北館)

南館
(改修棟)

西館
(増築棟)

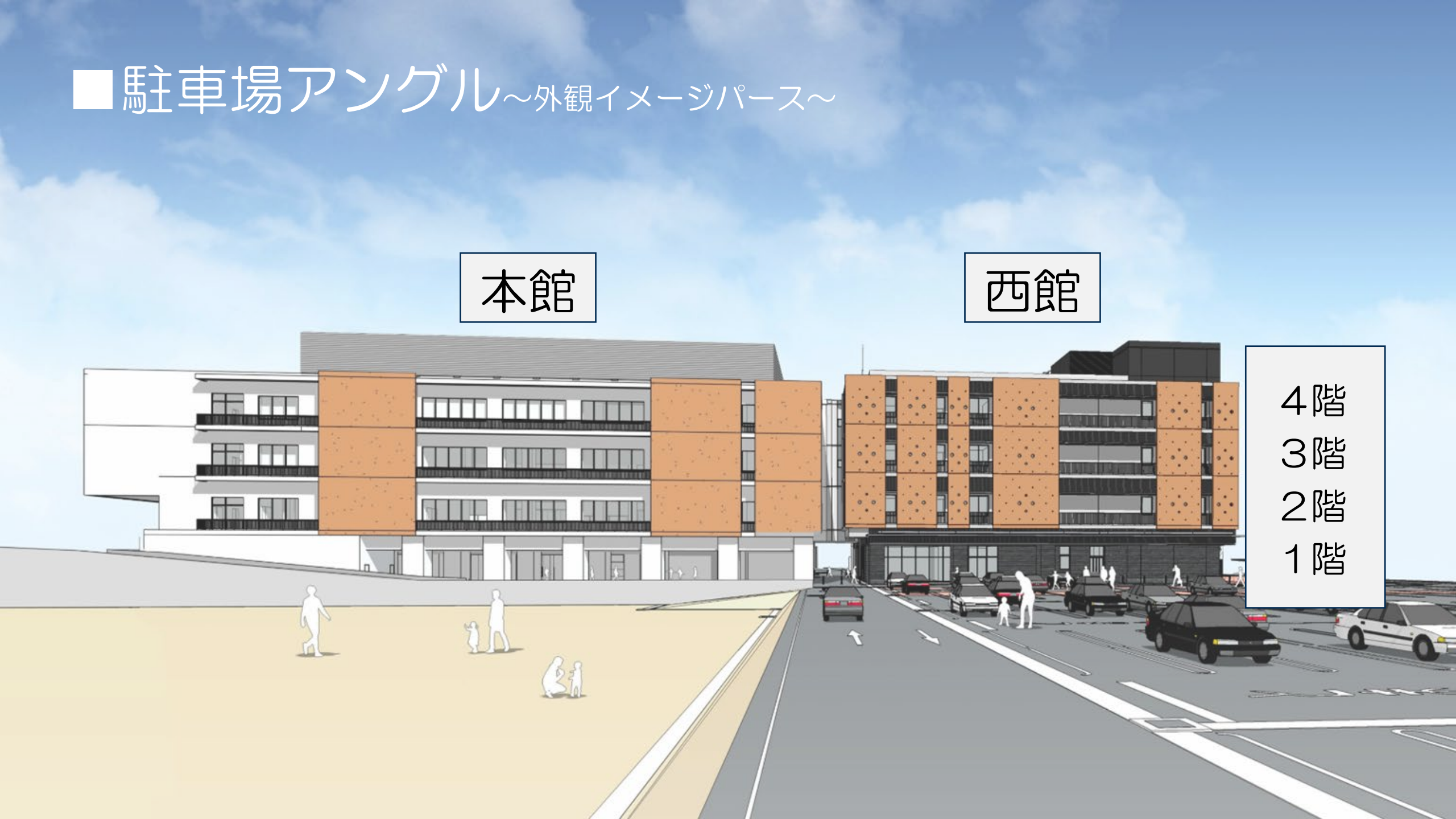


■ 駐車場アングル～外観イメージパース～

本館

西館

4階
3階
2階
1階



●豊町アングル

